

本海獅子舞番楽 猿倉講中

HONKAI SHISHIMAI
BANGAKU SARUKURA
KOUCHUU

東京2025
西徳寺公演

出演
本海獅子舞番楽猿倉講中

7月19日(土) 16時開演
座席自由
開場: 15時30分
終演予定: 18時00分
*15:45より西徳寺境内で小路渡りをを行います。

会場 真宗佛光寺派 光照山 西徳寺 本堂
〒110-0012 東京都台東区竜泉1-20-19

アクセス 東京メトロ日比谷線
入谷駅徒歩8分・三ノ輪駅徒歩8分

チケット情報

・一般:3,000円／学生:1,500円
(小学生以下無料)

・西徳寺門信徒(檀家):1,500円

※西徳寺門信徒は寺務所までお申し込み下さい。
(電話: 03-3875-3351/FAX: 03-3875-6796)

チケットはコチラからお申し込みください▶

お問合せ

sarukura.kouchu@gmail.com



本海 獅子舞番楽 猿倉講中

東京・西徳寺公演
7/19(土)



私たちは

秋田県の鳥海山の麓で伝承されている芸能
「本海獅子舞番楽」のひとつ猿倉講中になります。

真夏の暑い最中ですが、番楽の熱演の数々にご期待ください。

平成23年(2011)には国重要無形民俗文化財の指定を受けており、以前は13地区に伝承されてきましたが、コロナ禍以降は活動ができなくなっている地区も少なくありません。しかし、その様な中でも猿倉地区では子どもたちがしっかりと舞の伝承に励んでいます。このたび、芸能に縁が深いお寺西徳寺の本堂で本海獅子舞番楽の奉納公演を行う事に成りました。今回は子どもたちが舞った後に同じ舞を大人が舞うことで、子ども達が目指す番楽の将来を観客の皆さまにも一緒に見つめていただきたいと思います。会場での大きな拍手が子ども達の励みとなります。番楽の未来に向けて一緒に応援してください。

宗教者が伝えたとされる神楽です。

本海獅子舞番楽は、古代から信仰の山とされる
鳥海山の山麓に、江戸時代に本海行人という



演目

1 祓い獅子

獅子頭を持って悪いモノを祓う
祈禱の舞を行うことは東北の
神楽の大きな特徴です。猿倉では
7月16日の虫追い、8月15日の
盆獅子など集落の行事でも
祓い獅子が行われています。

2 三番叟

神楽の場に登場し、滑稽な
言い立てを語り、足を跳ね上げる
軽快な舞で大地を踏み固め、
舞台を祓い清めます。

3 山之神

幣束を背中に差した山之神が
舞台に現れ、足ずつつかりと
踏み締めながら殿かに舞います。
山之神は農作、漁業、狩猟の神として
東北各地で信仰されています。

4 剣之舞

二本の剣を持ち、
大地を踏み締め、剣を振るって
魔を祓う破邪の舞です。

5 三人立

三人の舞手が太刀を手にして
舞います。互いに太刀を握って
輪になって舞う太刀落りなど
軽快で見どころの多い舞です。

6 やさぎ獅子

(子どもと大人の二重立)

獅子舞番楽は祓い獅子舞始まり
やさぎ獅子舞で終わります。
祓い獅子の重厚な舞とはひと味
違う躍動的な獅子が登場します。
今回は子どもと大人の獅子が
共演します。

このマークがついている演目は
子どもたちと大人の舞を
続けて上演します。

演目は予定につき予告なく
変更する場合があります。